

住民と議会の意見交換会

日 時 平成 30 年 11 月 22 日

午後 7 時～ 8 時 55 分

場 所 ゆるりん館

○寺地議会運営委員会委員長 定刻となりましたので若干集まりが少ないようでございますが、始めさせていただきたいと存じます。

皆様方には、御多用の中またきょうは雨が降りまして、大変寒いということでお出かけにくかったと思いますが、ようこそおいでをいただきました。誠にありがとうございます。

私、本日の司会を担当いたします議会運営委員会委員長を務めております寺地でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

我々、こうした住民の皆さんとの意見交換会、平成 24 年から行っておりまして、1 回は地震の関係で取りやめをいたしましたけどもこのたび 6 回目になります。本年は本来ならずと役場の講堂でやとったわけでございますが、少し趣き変えようということで、このゆるりん館を使わせていただくということにしたところでございますが、どうも松崎この近辺の方もこの場所がどうもわからないという方もある人から聞いたような次第でございます。なかなかお出かけにくかったんじゃないかなと拝察をいたしておるところでございます。本町では御案内のようにケーブルテレビ等、整備されておりますし、また議会関係の委員会等の情報につきましても、町のホームページ等の動画がみれるように整備をしております。そちらのほうでご覧になる方が大変多くて議会本会議あたりでも、お出かけになる方が少ないという現状があるわけでございますが、こうして皆さん方と対面をいたしまして、御意見等を伺う機会是我々にとりまして大変貴重な機会だと思っております。皆様方の御意見等をお伺いをいたしまして町政に反映をさせていきたいという思いでございます。御意見等いただいたことすべて町政に反映するというのもなかなか叶わんと思いますけども、委員会あるいは全員協議会の中でいろいろと協議をいたしまして執行部等にお伝えし、そして実現できるということになればと考えておるところでございます。短時間でございますが、きょうは 9 時頃までを予定をしておりますので若干時間が少ないかもしれませんが、日頃思っておられるようなことはまた議会での活動等お聞きいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして入江議長が御挨拶を申し上げます。

○入江議長 皆さん、こんばんは。ようこそ本日、平成30年度住民と議会との意見交換会を計画しましたところ、先ほど司会からもお話がありましたように本当に寒くなりまして、またきょうは足元の悪い中をこうやってお出かけをいただきましてありがとうございます。本来でしたら、いつもは東郷地域の場合は中央公民館を使わせていただいていたのですが、この多世代交流センターゆりりん館を皆様にも地元の方もおられるから何回か来られた人もおられるかも知れませんが、ぜひとも知ってもらうためにもここで開催してみようということで、こちらでさせていただいたところであります。

今年ではありますけど、大変自然災害の多い年であったように思います。特に我が町にとりましても台風24号等におきまして町内100カ所以上の災害が起こっております。1億五、六千万ぐらいの災害、査定が来週の26日から28日にわたって災害査定がなされるようになってますので、それによって進んでいくのではないかなと思ってますが、早急にその辺のこと、また前回補正をかけまして先行してやるようなことも施策もっておりますので、早い段階でいろんな整備がなされるように我々も一緒になって取り組んでいきたいと思っています。きょうは、いろんな町内の施策、報告をまずはさせていただきたいと思います。

皆さんも御承知のように、いよいよ中学校が平成31年4月開校ということで開校の予定になっております。建物のほうはほぼ98%ぐらい完成をみております。あと、グラウンドの整備であったりだとかテニスコートの整備であったり、その辺の整備がこれから残っているんじゃないかなと思います。来年1月ごろからは給食センターを稼働させて子どもたちの給食、来年度に向けて進めていきたいなと思っているところであります。

また、新聞等で御存じのように旧ミドレーイクホテル跡地の開発、民間と我々官が一緒になって進めていく施策であります。まだまだ決まっていない部分もありますけども地方創生、またいろんな異世代の県外からのアクティブシニアを含めた中での人口流入をして進めていきたいと考えているところであります。

きょうは、本当に短時間ではありますが皆様から御意見をちょうだいしたいと思いますし、今議会で取り組んでいるようなことを各委員会の中で報告をさせていただいて、そのあとテーマを設けた中で学校の跡地の問題であったりだとか現在行われてます国道179号線バイパス延伸の問題、生涯活躍のまち、災害関連ということで意見交換会等をさ

せていただきたいと思いますので忌憚のない意見をいただきまして、また町政に反映していきたいと思ってます。どうぞ、よろしくお願いします。きょうは、どうもご苦勞様でございました。

○寺地議会運営委員長 それでは、進めて参りたいと思いますが本日の報告会におきましては、議員全員で役割分担をいたしまして運営にあたるということにしておるところでございます。発表者は各常任委員長がおこないます。

それでは、まず初めに皆様方すでに少ない12名という議員でございますが、御存じかと思いますが本日出席議員の自己紹介から始めたいと思います。

〔 議員自己紹介 〕

○寺地議会運営委員会委員長 どうもありがとうございました。以上のようなメンバーで進めていきたいと思います。

それでは、お手元の日程に従いまして進行いたしたいと思います。

松岡議会運営委員会副委員長が資料の説明、日程の説明を行います。

○松岡議会運営委員会副委員長 （資料の説明）

○寺地議会運営委員会委員長 それでは、早速でございますが委員会報告に入りたいと思います。

○浦木総務産業常任委員会委員長 時間的には10分というようなことで報告を終わりたいと思っておりますので、その辺の御了承願いたいと。

まず、総務産業常任委員会として二つのテーマを今回報告ということにいたしました。

一つは、ローカル的なテーマとして水明荘についてということと、それから泊、東郷、羽合全体の問題として防災というような格好での報告ということにいたしたいと思います。

まず、最初に水明荘についてということでございますけども、この水明荘については、特にこの東郷地区の方っていうのは、我々とまた違った、他地区とは違った思いが水明荘に対する思いがすごくあると実感として感じております。そういった中において、毎回水明荘の経営状態等の報告我々が受けておりますけども、損益のプラス、マイナスでいくとプラスなんだけども建設費の返還等のことによって現金が足らなくなるというようなことが起こっているというようなことが報告されております。ただ、建築費の償還も来年度で全て終わるというような状況で、来年度になったら現金の流れもスムーズになってくるのかなということしております。

この水明荘というのは、国民宿舎第1号の施設であると、これ全国で第1号の施設で

あるということと、東郷地区の歴史的なシンボルでもあったというようなことで、ずっと今までやってきております。利用者につきましては、年間約6万ぐらい、宿泊が1万2,000から1万3,000これは5年間の平均です。それから休憩とか会議が3万から3万6,000、風呂の利用とか日帰りの分が1万9,000～2万のというようなことで合計したら約だいたい6万人程度の人が水明荘を利用しておられるというようなことでございます。

ただこの水明荘、先ほども言いましたけども、いろいろな問題が災害なんかの影響、あるいはそういったことによって入り込み客が減る、少なくなる。というようなことの絶えず繰り返しをやってきとるというようなことで、どうやったらいいんかというようなことで、町としても経営コンサルタントに依頼してどういった方向に持っていったらいいのかということを今シュミレーションを描いております。3年契約でこの経営コンサルからの報告が出てくるといことなつとりますんで、昨年、一昨年、今年で3年目になります。今年の年度末には報告書があがってくるのではないかと考えておりますけど、そこ中でちょっと聞いたっていうのは、委員会で正式に報告があった、支配人からありましたけども、今後水明荘をどういう形にもっていくんかというようなことでございます。一つは以前から言われてる指定管理制度で水明荘運営をする。あるいは、売却してしまうと。最後が今までどおり町営の施設で運営していくという3つのたたき台をしながらコンサルタントの報告も出てくるとは思いますけども、それによって我々委員会としても真剣に、きょう皆さんの意見もお聞きしながら真剣に論議していく必要があると感じております。そういったことを今の水明荘の状態でありますので、皆様の本当の意見、思いをきょうは述べていただけたらなという思いはしております。

次に、防災についてということでございますけど、この防災については今年度は東郷地区の羽衣会館を拠点にした防災訓練っていうのが行われました。その中でやっぱり感じたのは、私も羽合地区から羽衣に向かったときに門田か長和田かちょっとわからないんですけども、ヘルメットをかぶって整列してずうっと避難されとった。あれをなんっていう呼び名するか知らんですけど、リアカーみたいなのを引っ張って子どもとか年配の方を乗せてやっておられる。本当にそういった訓練っていうのは非常に大切だと思っております。ただ、言葉だけの訓練ではちょっと無理なところがあります、はっきり言って。それと講演といいますか説明の中身についても国交省から来られた、あるいは県から来られた方がかなり具体的な説明をされました。そこで私一つ感心したのは、天神川水系、あるいは東郷

池水系とこの二つの水位あるいは洪水のあれによって、いろいろシュミレーション変わってくると、天神川の防波堤が決壊、それも上流のほうで決壊した場合は湯梨浜に影響を及ぼすっていうのは2、3時間後であろうと。ただ下流のほうが決壊したら1時間後にもう、すぐ湯梨浜のほうに影響がくると。そういった具体的なことをわかりやすく説明された防災訓練であったんじゃないかなと。私は今回のあれっていうのは本当に住民の人にとっても大変よかったんじゃないかなと思っております。私、一番ここであれしたいのは、避難ですよ、避難っていうのは3つあるんですけども、避難準備、避難勧告、避難指示ということなんですけども、私も執行部にお聞きしたことがあるんですけど、この3つの内容、住民の方が十分知ってもらえるのかと。私もちょっと知らん部分がありました。避難指示と避難勧告とどうに違うのかと。やっぱりその辺をきちんとやって本当で避難指示っていうのが出る段階だったら厳しい状態ですので、そのときにはもう避難してもらわないといけないんですけども、ただ、今までの事例からいって避難する人が本当に少ない。今回も町長がこの間言われましたけども敬老会のときに、自分が町長になって初めて避難指示というのを出したと。そのときに集まったのがちょっと数忘れたごめんなさい、そう多くはなかったということを聞きました。そういったことからしてやっぱり自分の命を守るっていうのは避難するっていうことは非常に大切だと私は思っております。そういった中においての避難指示が出て避難をしないっていう、それはやっぱり町のほうも真剣に考えて、あるいはその何で避難指示が出てるのに避難されなかったのですかというような聞き取りとかアンケートでもいいですよ、そがなん出してもらってなるべく多くの人に避難してもらおうというような体制をとるのが大事ではないかと思っております。たまたまこれ家にあっただんですけども、これは羽合地区の分なんですけど平成21年ですか、これハザードマップです。大変大事なもんなんですけども、私もこれが家にあると知らなかったです。ところが女房がなんだか知らんけどこれあるよと言って出してきてくれて、初めてこういうもんがあったんかと、これすごくいいもんだよと。だけど、家の人があるっていうことを認識されてない人が多い。今回も多分3月末ぐらいには新しいハザードマップが出ると思います。出されると思います。ただ、いままでみたいに区長をとおしてこのハザードマップを住民の人に配っても、また同じようにどっかのほうに積んで終わってしまうという可能性がある。だけ、今回はできたら町のほうから出向いて、地区のほうに出向いてこのハザードマップの説明なりなんなりをきちんとやる。それによってこれがいかに大切か、いかに保管しておかないといけないかというようなところもきちんと把握してもらいたい

うようなことを今年はどうもやられるようですし、またこっちもぜひそういった格好でやってもらうようには行政には物申していきたいと思っています。そういったことにおいてこのペーパーとしてこれ出てるのかな、これはあくまでも想定した東郷池水系、あるいは天神川水系の洪水のあれなんですけども、天神川と東郷池と一緒にした避難場所とか避難指示の分ではありません。その辺はまだ国交省がきちんとしたものを出してくれないので、それが出た段階で町もきちんと整合しながら出していきたいというようなことです。ちょっと時間的なものがありますけど、この東郷地区の場合は、ただ1点、この間台風のときには冠水しました。合銀のあたりっていいですか、コンビニのあたり。それで通行止めになったというような、あそこは絶えず冠水するというようなことで7年計画、25年から32年にかけて県の工事として嵩上げをやるということで今年が4年目に入りますか。進捗率からいったら約3分の1から半分の間ぐらいの工事は済んでると。この区間っていうのは、養生館から引地の間の2.3キロこの区間のようなんですけども、やはりそういうとききちんとしながらやって今までずっと浸水してきよった地域っていうのをそういったことから解放していくということが大切だと。ただ、今ある堤防から50センチぐらい嵩上げです。これはその場所によって違いますけど、平均約50センチぐらい。でもそれをしてしまったら今度は上のほうからおりてきた水の下、それをどうすんだと。住宅のほうに溜まっちゃうんじゃないかと。それに対しては、町の工事ですけども今の状況でいくとポンプを何台か1カ所か2カ所とか設置してポンプアップして東郷池に吐き出していくというようなことを今想定してやろうとしております。このことに関してもやっぱり地元住民の人の意見っていうのはすごく大切ですので、この場でもいいですから御意見がございましたら出していただけたらなと思っております。総務産業常任委員会としては以上の報告で終わりたいと思います。

○寺地議会運営委員会委員長 どうもありがとうございました。

そのほかですね、資料に基づいてたくさんあげてありますが、東郷地区は以上の2点ということで時間の関係上、閉めさせていただきたいと思います。おおむね1委員会10分程度予定しておりますので次に移っていききたいと思います。

それでは、教育民生常任委員長お願いをいたします。

○浜中教育民生常任委員会委員長 教育民生常任委員会からは、新中学校の開校について、ゆりはまヘルシーくらぶによる健康寿命延伸について、松崎駅前総合相談センターどれみ、松崎駅前多世代交流センターゆるりん館、3点について説明したいと思いますが、

見たらわかるように資料を調べてきましたので、簡単に説明したいと思います。

まず初めに湯梨浜町立新中学校・給食センター建設事業ですけど、最初に議長からもありましたけど屋内運動場、プール棟、学校給食センターについては完成をしとります。また、校舎棟についてもほぼ完成をしておる状況であります。あと、グラウンド、テニスコート外構工事ですね、その部分を今一生懸命やっておるところであります。右側の下に今後の予定ということで書いとります。来年の1月には日にちは未定ですけど、新しく給食センターを試験稼働して給食を提供していく予定にしとりますし、3月には学校公開、また各中学校の閉校式、移転作業。4月に竣工式ならびに開校式を予定しております。裏面を見ていただきますと、校訓、教育目標、めざす生徒像、また校歌と校章について決定をしたところであります。また、真ん中どころの右側に通学方法、羽合地域は自転車、泊地域はスクールバス、東郷地域は自転車、スクールバスとなっております。

続いて、ゆりはまヘルシーくらぶについて説明したいと思います。これは皆さんが健康に関心を持ってもらうとともに健康で生活できる期間。平均寿命とかありますけど、健康寿命を延伸できるよう運動習慣を身につけていただくことを目的として始めたものであります。タニタと提携をいたしまして、活動量計を貸してもらってその活動量計で出たものをタニタにデータとして送信して、それらに基づいて健康セミナー等の開催に参加できるというものであります。チラシみたいになっとなりますけど、募集人員は定員250名、また会費は年間費3,000円としております。ぜひ、参加申し込みして健康寿命を延ばしていただきたいと思っております。

続いて、総合相談センター。皆さんここの「どれみ」また、ここの「ゆるりん館」について初めて来られた人ってありますか。開所式のときに僕来て、きょうがまだ2回目で大変失礼なことしとるかなという思いがしとりますけど、1枚目については、「どれみ」の11月の広報に出とったと思うんですけど、予定が書いてあります。主な目的として大きなところでは、ここ看護師さんが常駐しておられまして、健康相談等を受けてもらうのが大きいなという思いがしとります。また11月28日は、出張のハローワーク等もあります。裏面には、いろいろ子育てオープン日とかいろいろ書いとります。ぜひ、毎日でも来て血圧等測ってもらったら健康も延びていくのかなという思いがしとります。また、「ゆるりん館」この場所、食堂もあります。買い物スペースもあります。ぜひ、皆さんに利用していただきたいなという思いがしとります。料金も書いてあります。ここスペースを使いますと、ゆるりん広場、書いてあるとおりであります。せっかくこういうものができたけど

利用が少ないというのは大変寂しいと思いますので、ぜひ利用していただきたいという思いであります。以上です。

○寺地議会運営委員会委員長 それでは、続きまして議会広報常任委員長よりお願いをいたします。

○米田議会広報常任委員会委員長 議会広報常任委員会の活動を報告させていただきます。議会広報常任委員会は、議長以外11名が委員となっておりまして動画編集担当以外は2班にわかれて活動しております。議会広報は年に4回、定例会にあわせて発行しており、ほかに県の町村議会の研修、また全国研修等で勉強しております。今年は広報コンクールで毎年優秀賞をとっている町に行って研修してきました。あとは、昨年の住民と議会の意見交換会の中で意見がありました。その中で定例会、常任委員会以外の活動が見えないというような意見がありまして、そのあと、不祥事に対する経過と対応、また専決処分について、契約解除等についてということで一連の流れを特集するような形で広報いたしました。この点について、県の町村議会の中では「報告分が的確でありました。」といったような評価もいただいております。編集理念、読んでみたくなる紙面ということでそれに沿ってこれからも頑張ってお参りますのでよろしくお願いいたします。以上です。

○寺地議会運営委員会委員長 それではここで若干、質問の時間を設けたいと思います。ただいまの常任委員長の報告につきまして短い説明でございましたんで、なかなか難しいと思いますけども、質問等がございましたらお受けをしたいと思います。質問のある方は挙手のうえ、お名前がいただければと思います。マイクをお渡しいたしますので、マイクを使用して質問していただければと思っております。なお、内容につきましては、行政等兼ね合い等もございますので即答できない面もあるかと思いますけども御了承賜りたいと思います。そのあと執行部と協議、審議し議会だより等でお返しをするという計画にしておりますのでよろしくお願いをいたします。それでは質問等がございましたらどうぞよろしくお願いをいたします。

○住民 通学路の問題をよく聞かれるんですけど、引地の方と花見地域の方と通学路の街灯がちょっと不安だという、はっきりしなくてね。通学が不安だという声をよく聞くんですけども、そこの整備の辺はどうなってるのかなということでお聞きしたいのと、やっぱりもう目前に控えてますので遅いぐらいですけど、どうも交流するっておっしゃられたけども両中学校の生徒さん同士が。部活なんかで野球部とかなんかでは一緒に部活したり何かしたりして交流してるって言われるけど、もうちょっとなんか学校の生徒同志の交流

ってというのが進んでないっていうか何にもしてないような感じで、突然新しい中学校になって一緒にいるっていう生徒さんもたくさんおられると思うので、そこら辺の交流っていう辺はどうなってるのかなっていうのをお聞きしたいなと思って。これは行政のほうで議会ではないかもしれないけれども、そこら辺のところちょっと不安に思ってる親御さんとか生徒さんも、やっぱり不安に思ってることがたくさんあると思うんですよ。だから、部活で交流してる子どもさんはいいんですけど、そうでない子どもたちっていうのは親御さんも、とても新しい中学校になって不安を感じているっていうのがたくさん声が聞こえますし、通学路の問題も何かまだちょっとどうなってるのかなって辺の声はよく聞きます。

○寺地議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございます。執行部の責任者もいらっしゃるけど、答えるわけにはなりませんので。

○浜中教育民生常任委員会委員長 せっかくおられるので直接聞いたほうが確かかなと、僕が言うよりは。いろいろ通学路や防犯灯については、順次整備していくということを伺っております。ただ、順序というわけでもないですけど、一遍にどんとはなかなかできませんので、整備をしていくということだろうと思います。

交流についてもありましたけど、深いところまで聞いてないのが、私どもが、現実あります。そこら辺のところ教育長ちょっと話してもらったら。

○土海教育長 通学路につきましては、これは該当の保護者の方が話し合って決められるというのが大原則です。花見地域と引地もっていうお話がございましたけども、それぞれの保護者の方よく議論をされて少し、こっちがいいじゃないか、あちらがいいじゃないかという御異論があったようですけども、ようやく方向性がまとめられて交通安全部会っていいですか準備委員会の中のそういう部会で最終的に結論が間もなく出るとお聞きしております。

それから、もう一点は交流のお話がございましたけども、夏までの先ほど御紹介ありましたけどもスポーツ大会等それぞれ両中学校で使用してございましたけども、新人戦に向かってはバスケットボール部が両中学校、湯梨浜学園も交えて合同チームを作って中部の大会に出場されたというようなこともございます。野球部も先ほどお話があったところでございます。先生同士の交流と言いますか議論は随分進んでおりまして、きょうの資料の中にもいろんな教育目標ですとか、そういうようなものはそれぞれ先生方がお集まりなられて意見交換をされて定められたというところでございます。それらを受けてこの後、生徒同士の交流というのも始まっていくんだろうと期待しているところでございます。

○寺地議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございました。その他ございませんか。

○住民 私ごとですが、今年度、東郷小学校のPTA会長をさせていただいてまして、今までの、一保護者とは違っていろいろといろんな会等に出席させてもらいながら、改めて自分の娘の通っている学校のことをよくみえて大変貴重な経験をさせていただいておるところですが、先日、湯梨浜町の小学校、中学校のPTA連合会のほうで教育関係に関する予算のことで町長のほうに陳情にあがらせていただきました。その中で、すべての件について、町長をはじめ土海教育長もですけど非常に前向きなご回答をいただいて大変うれしく思っているところなんですけど、その中で、純粋に家に帰って思ったことが、陳情の内容で例えば東郷小学校でしたら、児童玄関がかなり地盤沈下をして危ないとか、羽合小学校でしたら、玄関のブロックがでこぼこしているとか、ちょっと大きくなって思ったのが泊小学校の給食室ですかね、かなり雨漏りをしているとか、環境が悪いことも陳情の中にあげさせていただきまして、当然改善が必要ということで御回答いただいたのですが、純粋にやはり感じたのはこういうことってわざわざ陳情しなくてはならないことなのかなっていうものがちょっと感じました。どうしても学校の隅々であれば先生なり、例えば授業参観で行ったときに小さなところとか気づくことがあれば、ここなんとかしてくださいというぐらいのものかなと思うんですけど、例えば誰が見ても玄関がでこぼこしているとか、調理室のところがちょっと状態が悪いとか誰が見てもわかるようなことは、我々保護者が先頭に立って陳情というかたちであげなくても、たまにでかまいませんので議員さんにもたまに学校にちょっと足を運んでいただいて、学校の先生とかに気になる所はありませんかみたいな格好で聞いていただけたらなと思います。あんまりにも議員さんが頻繁に学校出入りされると学校の先生方もちょっと構えられてしまうのかもしれませんが、私が個人で思ったのは誰が見てもこれは明らかに危険だな、これは明らかに早急な修復が必要だなという誰が見てもわかるところは、議員さんに足を運んでいただくことによって早期に解決できる部分があるのじゃないかなというところを思いましたので、今いましてくださいというわけではございませんけど、意見ということで申し上げさせていただきます。以上です。

○寺地議会運営委員会委員長 ありがとうございます。

議長。

○入江議長 貴重な意見ありがとうございました。議員が学校だけに限らずいろんな現場に現場主義で行くということは大事なことで思っています。ただ、議員が行ってどうこ

うっていう以前に、やはりいろんな組織がありますので校長会であったりだとか、その辺が施設の改善に向けては取り組まれるのもあれだと思いますし、議員がそれぞれ現地を見てこういうところっていうこともあろうかと思いますが、議員が行ったからどうこうっていう手法ってというのはまたちょっと私は個人的には違うような気がします。どちらになってもやはり我々議員も先ほど言いましたように、現場主義をやっぱり大事にしながらいろんなところに出かけていって状況把握をして、いろんな施策に提案、提言ができるような形づくりをするということは大事なことだと思ってますので、私以下これからまた努めていきたいと思いますので、いろんな意見をいただく我々でも見えないところってというのはたくさんあると思いますので、気付かないところってあると思いますので、その辺はまた御意見をいただきながら一緒になって進めて改善していきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

○寺地議会運営委員会委員長　ありがとうございます。そのほかございませんか。

○住民　防災のことについてお尋ねしたいんですが、先方説明がありましたように、この松崎地区は上流からよりか東郷池の氾濫がほとんどだと思います。先回もさっき説明がありましたように3区の辺と、それから旭区の水明荘から県道にかけての冠水があったんですが、聞きますと公園と、それから水明荘の西側の河川というか用水に弁をつくって先方説明されたようにポンプアップして池に出すという工事をされたようです。水明荘の西側の用水にはポンプもできとるようですが、公園の中はどういう形になってるんですか。弁はできたようには聞いてますけど、その点だけでも説明お願いします。

○浦木総務産業常任委員会委員長　今、言われました水明荘の西側の件については、申し訳ない私の認識では、まだ町が施工をやったという報告は受けてないんです。これから2、3キロの中で全体的に何ヵ所ポンプアップするところが必要なのかというところをきちんとしてから、それからポンプの設置をやっていくという説明を受けておりますんで、今言われたというちょっとわかりにくいと思います。私ももしあれだったら明日にでも現場に行ってどういう状況かっていうのは見てみたいと。

○住民　池のほうの弁は県工事でございますね、これは。それで河川は町がするという形になりますですね、青線ですから。そうしますと、この間浸いたんも公園の中も工事は終わっとるようです。ですから、この間の洪水でも浸からんと思ってたところが弁ができて排水しとればもちろん浸からんはずなのに、何であそこに水がついたかなと思っとったところなんですけど。じゃあそうすると、まだポンプはできてないということですね。い

ずれば、公園のところもポンプが付くということですね。

○浦木総務産業常任委員会委員長 さっきも言いましたように、これからどこに付けるかというのを選定するということ決まっておるわけではありません。そこに付けるということは決まってるわけではありませんので。御了承願いたいと

○住民 付くか付かんかっていうことも、わからんわけですね。

○浦木総務産業常任委員会委員長 付くのは付きますけど、場所をどこに付けるかっていうのは、まだ確たるものは決めてないということを執行部から報告を受けてます。

○住民 わかりました。

○寺地議会運営委員会委員長 済みません、今の質問に対しましては委員会として多分受けとるのはその程度なんですね、我々も。たまたま、ここにまた副町長がいらっしゃる。そこまで検討されるかどうかわかりませんが、もし発言が許される範囲でありましたら、発言していただきたいと思います。

○住民 関連のもう一つ質問ですけど、大きな経費をかけてそういう装置をされるわけですから。もう一つ私が考えてみますのに、この3本の水路はもともとは用水というか、今、その川が必要なのか、水が必要なのか、流れる川が必要なのかということをどう考えておられるか。

○入江議長 今の件は大変難しいことだと思いますね、我々の段階では。やはりそれは県であったり、国であったり国交省ですね、その辺と一緒に考えていけないことだと思いますが、我々が軽々にそのことについて「こうだろう、ああだろう。」と言うことをこの場でお話をするというのは、ちょっと違うというか、わからない。実際はちょっとわからないということだと思います。

先ほど冒頭の話ですけども、ポンプとかの話ですけども、今回御承知のように養生館のほうまで整備するっていうことでだいたい青写真ができてます。随時見られてよく御存じだと思いますけども、今それぞれの業者が決まりまして、それぞれ工事が進んでおります、延伸が。私はやっぱり守ることもそうなんですけども、それから手前のほうの、持つとられます、旧温泉団地的なところの町道のことであったりだとか、それからそれに伴うような排水路とかあの辺の整備っていうのもあわせて、町の側からすると必要じゃないかなって個人的には思ってますけども。どちらになっても、まだまだ所管の委員会等にもあんまり詳しい話がそこまで通っていない。それから、県の工事でありますのでこういうことをだいたいしますよっていう漠然とした説明しか実際受けておりませんので、またその

辺も我々もまた聞きまして、どういう形になるかわかりませんがフィードバックしていききたいと、皆さんにお返ししていききたいと思ってますので、よろしくお願いします。

○住民 わかりました。それで、この水はどっから出てくるか御存じですか。3本の用水は。

○入江議長 用水というのは川のことですか。舎人川であつたりだとか…。

○住民 そうではなしに、今、弁を作ろうとしておられるところ。

○入江議長 わかりません。

○住民 でしょうね。これはずっと遡るんですけど、このあたりは一体田んぼだったんですよ。田んぼの用水なんです。もうそれが全然田んぼなんてもう今見られてわかるように宅地になって必要のない用水なんです。そこら辺を考えてもらいたいと思います。これは駅裏の田んぼから鉄道の下をくぐって流れてきとるんです。もうそういう用水は必要はないと僕は思っとるんです。そうすると、そういう水が出てこなんだからそういう大きな金はかけんでも十分排水できらへんかと私個人の考えですけど、その辺をひとつ研究してみてください。

○入江議長 わかりました。なかなか難しいこと…。

○住民 これは、青線ですのでなかなか難しい点があるかと思いますが。

○入江議長 関連した農業者であつたりだとか、いろんなところにも関係しておりますのでその点については我々もまだまだ勉強不足でもありますんで、また研究もさせていただいてまた回答なりをさせていただこうと思ってます。よろしくお願いします。

○寺地議会運営委員会委員長 ありがとうございます。副町長もせっかくおられるんですが、多分そこまではね。もし言っときたいということがあったら。

○仙賀副町長 今年の予算の中では、今言ったようにポンプの能力をどのくらいにするかというところまでの予算をつけていただいております。ですから、これからそこにおいてどのくらいの能力をもったポンプを据えれば内水面として整備できるのかというところまでが今年の仕事ですので、今言われたような次の段階においては整備をどういう形になるかっていうことになると思っております。

○寺地議会運営委員会委員長 我々委員会のほうでも、先ほどの意見等参考にさせていただきながら、また追及していききたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

そのほかございませんか。

また後ほど、質問等を受ける機会もあろうかと思っておりますので時間が進んでまいりました

ので次にいきたいと思います。

それでは、地方創生に向けてということで議題として3つほどあげとりますが、意見交換できればと思います。この施設等もその関連でできとるわけでございまして、各地方自治体が地方創生、全国一生懸命やっておられるものでありまして、そこら辺のところを皆さん方と意見交換できればと思います。進行につきましては、河田副議長が担当いたしますのでよろしくお願いいたします。

○河田副議長　それでは、進行を私が進めさせていただきます。なお、答弁につきましては議長を中心にお答えをさせていただきたいと思います。

そうしますと、副題として4つあげておりますが、まず一番最初の学校の跡地問題ということについて意見交換をしてみたいと思います。行政側の跡地問題検討委員会というのも今月提言をまとめられたようです。まとめられて、つい先日町長に上程されたということで、まだ議会にはその報告があがっておりません。来月定例会がございしますが、そのころには議会にもまた出てくるかと思います。それを受けまして議会としても特別委員会を設けておりますので、内容を検討しながら話を進めていこうというような段階であります。皆さんのほうで、今思っておられるようなこと、感じておられるようなことがございましたら、また参考にさせていただきたいと思いますので、ぜひ御意見ございましたら伺いたいと思いますが、どうでございましょうか。

○住民　私、昨年区長をしていた関係で、資料でいくと2枚目ですかね、レークサイド・ヴィレッジゆりはま、C C R Cのような計画の話しとか「どれみ」にしても「ゆるりん館」にしても少しだけ早く情報を知るようなことがあったわけなんですけども、そのとき正直なところ、軽くショックを受けたっていうのが正直なところでして、なぜかと言いますと、ある意味で今更、箱ものかなっていうのが正直な思いでありました。おそらくこれらの施設整備っていうのは、地方創生交付金なりというのを利用してやるので、建設自体については町の負担っていうのはそれほど多くないのかなとは想像してるんですけども、その交付金自体もそんなにずっとあるわけではないでしょうから、ランニングコストというか、その後の費用がどうかかってくるのかとか、最初に水明荘の経営の問題なんかもありましたけれども、おそらく商業施設とかこれ公設民営になるのかどうなるかちょっとわかんないんですけども、人口が減少していったとか、経営的に厳しくなって民間の事業者さんが仮にやっていたときに成り立たなくなってくれば、何かしら町からまたお金が補填されるんじゃないかみたいなことも、もしかしたらあるのかななんて思ってみたときに、

この「ゆるりん館」もまさにそうなのかなと思うんですけども、そういったところの将来的な視点というのをどれくらい検討されて、予算的に。こっちのレークサイド・ヴィレッジのほうはこれからかもしれないですけども、そのあたりどういった期間を検討されてこの施設をつくろう、あるいは、その予算を承認しようというような流れになったのかなっていうのを教えていただければと思います。

○入江議長 まず、この「ゆるりん館」の話も出ましたので、この「ゆるりん館」のを中心にごちゃとお話をさせていただこうと思います。

地方創生の中で、特に「ゆるりん館」はAコープが閉鎖をされて数年経ったということで、特にこの松崎地区を中心に東郷エリアの方の買い物難民ということの解消、それから地域の活性化、その辺を目的に改築といいますか、させていただきました。ここに至っては指定管理にきょうもお越しですけど、まちづくり会社が担っていただけるということになりました。ただ、やはりまちづくり会社さんもそうでありますけども、我々も心配するのは経営基盤の問題です。経営基盤がきちんできていていかない、長続きをしない。まさしく言われたように、マイナスができたときにその指定管理だけが足らなかったら、また何かを継続するために行政側が補填していくのかっていう問題は、まさしく言われるとおりじゃないかなと思います。そうならないようにしていかなくっちゃいけないということだろうと思います。どうやって経営基盤を確立していくか、それは指定管理を受けられた会社ももちろんであります、我々もやはり一緒になって考えていかなければならないかなと思います。

一つは、挨拶の中にも申し上げようと思ってましたけども、そもそもの買い物難民の話が出たときに、やはりそうであるならばこの地域の方に真っ先に利用していただいて、欲しいと言われたものを整備していったっていうのが一つの大きな理由でもあります、この地域の方に本当に利用していただいて盛り上げていただきたいという思いはあります。そうしていかないと本当に要望を受けて建てました、それを本当に維持していくのはどうするんですかという問題は、やはり地域の住民の方も本当に真剣に考えていただかなくっちゃいけないことではないかなと思っています。総合的にいろんな検討はこれから跡地問題を含めてやっていかなくっちゃいけないと思います。学校の跡地は、中学校は特に、北浜中学校、東郷中学校あります。それぞれ建っているエリアの特性もありますので、今後の考え方はそれぞれ違う部分で考えていく必要があろうかと思っています。

もう一つは、北浜中学校は御存じのように旧泊村・旧羽合町・旧北条町の学校組合立の

学校でありました。まだ問題が残っているのは、閉校した時に北条、今、合併して北栄町になりましたが、そこに権利がまだ残っております。その部分を解消していかないと次の段階に進めないんじゃないかなって思っております。その辺のそれがどれぐらいの金額のもので提示を向こうが受けて、そのことにそれが解消されるかどうかという問題も早急にやっていく必要があろうかなと思っているところであります。まさしく言われたことは、大変重要なことでありまして箱ものだけを建てることっていうことが我々望んではおりません。そのためにも、ここの学校の跡地だけじゃなくって、まだ点在している公有地もあります。なるべく売却をしたりしてそういうところなくなるようにしようとしてますけども、最近では羽合浅津地区にありました公有地を民間企業に売却して、そこが造成をされて宅地開発という形になっておりますし、羽合の光吉地区にありました公有地、ここはあずま園さんにしてもらいましてそういう施設を建てていただいているということがありまして、今後そういうところを洗い出しをきっちりとした中で売却できるものは売却し、必要な部分は何か建てるなり、町で使っていくというようなことをきちんとやはり行政側も、我々もお互い認識し合った仲で進めていくということが大事な手法ではないかと思っておりますので、今後ともその辺きちんと精査をしながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

○河田副議長 そのほかどうでしょうか。何でも結構でございます。

○住民 跡地問題は、行政の方いろいろもう意見がだいぶ固まっていると思うんです。でも、何か住民のいろんな方と色々なというか限られてますけど私なんかも。だけでも話を聞くと「あんなをつくったらいいのにな。」「ああいうことに利用したらいいのにな。」と色々な声は聞こえますけれども、それは100人いれば100人いろんな考え方があるけれども、筋としてはやっぱり新しいものを建てるときには、その後のものをどう活用したらいいかということを考えてから本当はかかるべきじゃないかと。何度も何度も後から、本当私情けないですけど、東郷保育所の後なんかも廃墟になって情けない、アスベストがあるから仕方ないけど、何か情けない姿でその後がね。やっぱり後になってから考えるっていうことが何かいつも常で、そこら辺が何かもっと詰めていない。

それから、先ほど〇〇さんがいいことおっしゃられましたが、どういうスパンで見ているのかって何事でも。どんな行政の誰でも。先日亡くなられた日南町の町長さんも30年先の先を見越して行政の職員は仕事をせいで。議員さんも同じだと思います。30年先私らは生きてないけど、やっぱり何でも長いスパンで考えるということが人口が少なくな

っていくのはもう当然なんですよね。それで高齢化も超高齢化も当たり前だし、もうそれも済んで今度はどんと人口が減っていくっていう時代になって、もう何でも今度は何事も広域で考えないといけない時代じゃないかなと私は思います。だから広域でいろんなことを共通の課題を解決していくっていう、子育て支援も同じだと思います。湯梨浜だけの問題じゃないんですよ、子育て支援の問題は。北栄町も倉吉市もみんな琴浦もどこでも低年齢保育にきゅうきゅうしてるし、子育て支援大変っていう辺の話も共通の課題は全部広域でしていけないといけないっていう時代になってくると思います。30年先になったら湯梨浜が存続してるかどうかわかりませんので、ということも考えて跡地利用っていう短絡的な考えではなくて本当に先を見越したやり方っていうか考え方っていうのを、単純に言えば私は湯梨浜学園が東郷中学校を買ってくれないかなって思ったりして短絡的な考え方ですけど。それと、北浜中学校の後は北条の土地もあるってこともあるけど、これも広域で子育て支援の拠点施設をつくったら格好いいなって。特にこの前、町長さんが言っておられた、町長さんだか行政が言ったけど、ゼロ歳児保育がものすごい大変な状況になってきてるっていうことが現実にありますので、ここを民間委託は絶対に断固阻止したいと思いますが、保育の低下につながりますけれど、ここを子育て支援の拠点施設にして低年齢保育と子育て支援センターが今、手狭です。それでネウボラと一体化したような広域でやったらどうかって先を見越して、私はそういうことを個人的ですけども思います。

○入江議長　まず、東郷保育所の話も出ました。御存じないのかもわかりませんが、東郷保育所は解体をします。今、公募をかけて売却に向けて話をしていますので、そういうことも実際やっております。

それから、言われるように広域的な子育て支援を含めて我が町だけのことではありません。プロの方に言うのも釈迦に説法かも知れませんが、今、保育士さん不足っていうのが、我が町だけでなしにありますよね。サービスを高めれば高めるほど、人手不足というのが本当に顕在化してるということでもあります。その辺を本当に広域的にしていくな必要がもちろんあるかと思いますが、もうここでは受け入れられないので外に向けて出いかざるを得ないっていうのがありますし、やはり地域の子は地域で育てるというような思いであるならば、やはり今要望する保育所、例えば松崎なら松崎こども園に行きたいんですけど、そこにはなかなか低年齢の子は枠として、場所としてできないときに、それをどうやって叶えていくかという問題もあるかと思いますが。特に羽合エリア、私のところ田後であったり、はわい長瀬であったり、それから役場がありますような久留ああの辺の地区ま

では大変家がどんどん建っております。それに伴って若い人が我が町のアパートに住んでおられる方とか促進におられた方が家を建てて出てこられますし、倉吉であったり近隣の町からも我が町の子育てがいいということの中で来ておられるっていうのは、間違いないことだと思います。その中でやはり先ほど言いましたような、自分らが要望するところに入れないという状況ですね、やはり解消するようなことを我々も一緒になって考えていかないけんっていうのはあろうかと思ってます。その辺は一緒になって取り組んでいきたいなと思ってます。

スパンの話が出てきました。先ほど〇〇さんの中でよう答えませんでしたけども、何年がスパンなのかははっきりわかりません。これだけ世の中変わっていくので何年を見越していくかっていう長期レンジな話、それから短期間その辺のことの使いわけ考え方の、それぞれ考え方を持ちながら進めていくということが大事じゃないかなって私自信も思ってます。ですので、今いただいたようなことも我々もやはり研究したり、いろんな先進地に学びながらどうやったら湯梨浜がもっともっと魅力のある、みんなに来てもらいたい、子育ても含めてやっぱり湯梨浜だなんて言ってもらえるような施策展開を今後ともできたらなと思ってますので、またいろんな御意見、知恵を授けていただければと思っているところです。

〇河田副議長 よろしいですか。ありがとうございます。貴重な御意見をいただきました、まだまだお伺いしたんですが、時間が経過しておりますので次のお題へと進ませていただきます。今の貴重な御意見、また議会のほうも跡地問題検討委員会をこれから開催いたしますので十分検討を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。上野委員長もしっかり意見を聞いておりますので、また議会のほうでも検討を進めたいと思います。よろしくお願いします。

そうしますと、2番目の国道179号バイパスについてということで、こちらはA3の資料をつけてございます。右上に現状と課題ということで現在の課題が載っております。非常に今の田後の西の交差点から湯梨浜町役場のところの、この図で言いますと黄色い印がついてところが非常に交通事故や渋滞の原因になってるということで、その上側に赤い印がついてございます、こちらにバイパスをつくって交通の流れをスムーズにしようという今計画で進んでおります。年が明けまして来年になりますと予算要求をされるようでして、この予算が通りましたら工事にかかれるというような流れで進んでおるようです。このことについて、何か皆さんのほうで御意見なりございましたら伺って帰りたいと思い

ますがどうでしょうか。何でも結構でございます。特に東郷エリアの方は利用されることがあまりないのかなというような感じもしますが、もしございませんようでしたら次に進ませてもらってもよろしいでしょうか。時間も経過しておりますので。

そうしますと、3番目に進ませていただきます。後ほどまた皆さん議会、行政に対する意見提言という時間も設けておりますので、またそのときにでも思いつかれることがありましたら発表していただけたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

そうしますと、A4のカラーのプリントでレークサイド・ヴィレッジゆりはまって書いた資料をお付けしてと思いますが、非常に格好いい名前がついております。裏のほうを見ていただきますと、その開発事業計画の予定ということで書いてございます。面積が4ヘクタール、エリアが5つの計画がございまして商業施設エリアから町営住宅エリア、福祉施設エリア、サ高住エリア、一般住宅エリアということで湯梨浜町が直接運営するのはこの町営住宅のエリアということで聞いております。その他のエリアにつきましては、民間会社がそれぞれ、福祉施設エリアについては社会福祉法人のほうで運営されると報告を受けております。これにつきまして、皆様のほうで何か御意見ございましたら伺って帰りたいと思いますがどうでしょうか。こちらのほうは、レークサイドゆりはま開発株式会社ということで会社を立ち上げて開発を進める予定となっております。

当初このサ高住、サービス付き高齢者住宅40戸ぐらいの予定ということの声もございましたが、なかなか運営が難しいというようなことで、現在では10戸を計画となっております。御意見ございませんか。

○入江議長 先ほど、それぞれのエリアの話がありました。これから取り組まないけんところもありますけども町営住宅のことが我々には一番解決せないけんところじゃないかなと思ってます。一般分譲住宅エリアであつたりというところは、先ほどもありましたように琴浦町にあります3社と地元の10社、13社で組織する会社が立ち上がっています。そこが開発をされて販売は米子の業者さんが担当されて販売をしていくという形になろうと思ってますので、そちらのほうは民のほうでやられるということなんで、我々としては町営住宅のほうでどういう整備をしていくかっていうのがこれからの課題であろうと思います。東郷エリアの人、特に上町であつたりだとか古い町営住宅がたくさんあります。この辺をどうやって、30年代の建物です、上町の辺。改修は何度かしておりますけども、基本的に古い建物でもありますので、その辺の住環境を整備をして皆さんに住んでもらえるようなところをつくっていかなくっちゃいけないなと思ってます。ただ、松崎エリアに

おられる方を今示しておりますヴィレッジゆりはまのほうに移行してっていう単にそんな考え方だけではなかなか難しいんじゃないかなと思います。生活基盤が何十年もそのエリアで生活をしておられますので、その方たちに「もう古くなったから、あそこに建てたからそっちに移ってください。」っていうのも、なかなか無理なこともあろうかと思います。その辺のことも十分に協議しながら、そうなったときには、どういう整備の仕方をするのか、ここは開発としては一つ考えないけんことですが、東郷エリア、特に松崎エリアの件につきましては、どうその辺を整備をしていくかということは今後の課題だろうと思っていますので、また御意見なり、また我々の行政なりの考え方がまとまりましたら我々のこういう交換会であつたりだとか、それから町長がやります町長と語る会であつたりだとかそういう場を設けながら、皆さんにお示しをしていかなくっちゃいけないなと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○河田副議長 よろしいでしょうか。

○住民 一つお聞きしたいです。この土地には温泉が行くんですか。

○入江議長 はい、そのように計画しております。一応、10戸を温泉付きというふうの開発を考えておられるそうです。

○住民 これは町有源泉ですか。どこの温泉…はわい…計画されとるのは。

○入江議長 源泉は今、めぐみの湯のところにある源泉から…。

○住民 町有源泉ですね。

○入江議長 はい、そちらから引いていくと計画しています。

○住民 わかりました。できればうちのほうにもこういう施設をつくっていただきたいんですけど。松崎にこういうもんができれば先方のこの施設も人口がふえて、よくなるんじゃないかなと思います。と言いますは、半世紀もこの東郷池の周辺なんら変わってない土地がたくさんあります。これが不在地主です。わかってますでしょうか。これをなんとかしていただきたいっちは、我々が住んでる大きな希望なんです。

それから、もう一つ今工事してますね、養生館さんから反対の土地ですね、その嵩上げ工事の湖岸道路っていうのがあるようですが、これは御存じですか。水明荘裏からずっと草が生えてどこに道があるかわからんような、そういう湖岸道路があるために過去の話ですけど、有馬から旅館が買収してそのままになってますね、土地が。これはなぜ逃げたかということ、なぜそこに旅館をつくらなんだか、これは聞きますと湖岸道路があるからということで引き上げちゃった経過があります。またこれからも湖岸道路ができるでし

ようかということです。

○入江議長 済みません、それに関してはちょっとわかりません。私は羽合のもんですから、余計にその辺の経緯も今初めてお聞きしたところがありまして、そういうことに関してどうこうお答えできるようなことは、ちょっとできないんじゃないかなと思ってます。湖岸道路の延長であつたりだとか様子は少し見てますけど、どこまであつて拡幅がどれだけあつてとか、その辺のこともまだ把握してないのが状況であります。これは私だけではないと思いますので、その辺また我々も勉強のためにもきちんと現場を知ることというのは大事なことだろうと思いますので、その辺は実施して皆で共有な見地の中でいろんな検討をしていきたいと思ってます。

○住民 はい、よろしく検討お願いいたします。どうも失礼しました。

○河田副議長 貴重な御意見ありがとうございました。時間も経過してまいりました。まだ御意見ございますと思いますが、最後の副題のほうへ進んで参りたいと思います。

災害関連ということで、先ほど最初の議会報告のときに〇〇さんからもありました東郷池に流れ込む用水路のようなお話がございましたが、皆さんのほうでもその身近なところで何かそういったお気づきの場所とか、ここをもうちょっと直してほしいとか、災害で壊れたまま直ってない場所があるとか、そういうところお気づきの点がございましたら伺って帰りたいと思いますが、どうでございましょうか。

農家さんのほうでは田んぼが崩れたり裏山がずれたりというようなことがかなりの場所で起こったようですが、こちら町のほうではあまりずれたり崩れたりということは御縁がなかったのかもしれませんが。特にございませんでしょうか。

○住民 東郷中学校が避難場所になってますけども、あそこは危ないじゃない。もうなくなっちゃいますわね。あそこ崖崩れっていうか危ない。なんであんな危ないところに逃げるんだという意見もありますよ。

○浦木総務産業常任委員会委員長 済みません、東郷中学校確かにあの丸印になつてります。ただ、この災害別での避難場所であつて、土砂崩れあるいは崩落等においては東郷中学校はバツになると思います。ここに書いてあるのは、あくまで洪水に対しての避難場所ということでございますので、それはちょっと認識していただけたらなと思います。

○河田副議長 はい、よろしいでしょうか。特に御意見ございませうでしたら、貴重な御意見をたくさんありがとうございました。また持ち帰って議会でも十分検討を重ねて参りたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

そうしますと、司会のほうを寺地委員長へまたバトンタッチをいたします。

○寺地議会運営委員会委員長 大変、貴重な御意見ありがとうございました。

最後となりますが、議会や行政に対しましての日頃お持ちの御意見等、また提言等がございましたら伺いをして帰りたいなと思っております。また、そのほかにも先ほどの話題の中での言い足りないということがございましたら、それでも結構でございますので御発言いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○住民 きょうの議題とは全く関係ないんですけど、何度か湯梨浜町役場に行かせていただくと、かなり古いなという感じが見受けられます。例えば会議があつたりとかしてもどっちの建物から入った方が、分館といいますか講堂側から入ったほうが行きやすいかなとか、あと建設水道課とか2階だったかいなとか、やはりかなり建物もすごく古い感じがするんですけど、新庁舎を建てたりとかそういう話しは全くあがってこないのかなっていうのが1点と。

ちょうどそれが思い浮かんだのが中学校跡地ですね、確か北浜中跡地は組合立のことがあるんですけど、やはり自由に使えるような格好といいますか、そういうふうになれば選択肢も広がるとは思ひまして、その中で場所的にも田後地域、非常にたじりこども園とかかなり古いとか、手狭とか入園児の数が多いとかっていうのも何年も前からありますので、中学校跡地に関することと同時に役場庁舎、かなり老朽化してますのでそちらのほうもそろそろ考えてもいいじゃないかなというのがちょっと思いであります。

あともう1点、東郷中学校の跡地ですけど、例えば工場とか事業所が入ってくればそこで会社ができれば雇用という面も生まれてくるかと思うんですけど、東郷中学校のまわりは道がすごく狭くて誰かが何か入ろうかというときにはかなり困るといいますか、町道も新しい〇〇さんちの斜め前ぐらい新しい町道ができましたが、何かすごくぐにゃぐにゃしてて、どうしてあんなぐにゃぐにゃをわざとなのか、用地買収がうまくいかなかったのかわからないですけど、なんかちょっと走りにくい町道ができたようですけど、東郷中学校の周りにはかなり道が狭いので、またその跡地を考えると周辺の環境もきちっと整備する必要があるかなというのと、やはり建物が残っているとどっちみち東郷中学校の校舎もかなり古いものだと思いますので、何かに利用できるというものではなさそうな気がしますので、そういった面も総合的に考えていただければと思います。

○寺地議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございました。なかなか答えにくいことですが、庁舎の関係につきましては合併のときにも多少検討したことがあるんですがね、

ただそうはいっても何のために合併するかというようなこともございまして、今の庁舎改修して使ってるということなんですが、そのものを跡地にという考え方はどうかということだろうと思うんですけどね。どうなんでしょうね、当分選択肢には入らないんじゃないかなとは思いますが、そのほか将来的に湯梨浜にとってためになる施設という、もし箱ものをつくるとすればそういう格好になっていくんだろうと思いますので、これについても議会のほうも跡地委員会をつくつとりますので、そちらのほうでまた委員長のもとに検討していければと思います。そのほかたじりこども園とかありますが…。

○入江議長 ありがとうございます。たじりこども園の件が出ましたので、私地元でもありますので、あそこ定員が120名です。ほぼだいたい毎年最終的にはオーバーになっておりまして、それは何年も前からそれぞれの議員が提言をし、考え方としては建て替えるというか新たな場所にということで、今の北溟中学校の跡地も一つの選択肢として町長を含めて考えていただいてるんだろうと思いますので、今提言がありましたように統合の中学校ができればその跡地利用についての具体的なことが進んでいこうと思いますので、その辺のことを踏まえながらたじりこども園に関しては新設を進めていけたらなと思っています。

それから、役場の件ですけれども我々もいろんなところに視察行かせてもらったりすると、本当にどこもすばらしい庁舎を建てておられまして、特に今、身障者対応も含めてバリアフリーのこともある。一番はエレベーターです。本当にエレベーターもないような庁舎ってほとんどないです。やはり、そういうことも含めて今後検討はしなくちゃいけないと思いますが、なかなか大きな予算を伴うものでありますので、その辺をどう考えていくかということは進める必要はあろうかなと思っています。いただいた意見も跡地利用のことも絡めながら進めていけたらなと思っていますので、ありがとうございます。また、検討させてもらい報告させていただこうと思います。

○寺地議会運営委員会委員長 そのほかございませんでしょうか。何でも結構です。

○住民 私が考えとることは議会議員の先生方、議会活動は一生懸命やられとるっちゅうのは広報紙で十分理解しとるつもりです。その前段の普段の議員活動というのは、どのような活動をしておられますでしょうか。

それと、あと一つこれは関連はないんですが、例えばここに「ゆるりん館」という立派な建物ができました。僕はこっから50メートルのところに住んどるんですが、できるまで少し説明をしていただこうと思っても説明がありませんでした。9割できたときに県に帰

られた副町長さんですが、あれがまわってこられて「こういうもんができるけ、どうぞ利用してください。」って言われました。建てる前に、こういうことを計画しとるがということがひとつもないんです。これは行政サイドの怠慢なのか、それともそういうPRを積極的に後押しせなんだ議員さん方の怠慢なのか、その辺をひとつお答え願えたらと思っております。

○寺地議会運営委員会委員長　なかなか厳しい御意見だと思います。普段の活動につきましては、各議員個人個人、違うと思います。やっぱりそれだけのお付き合いしてる人とか組織体とかそういった形に属しているわけですので、そのような中でいろいろ御意見等伺ってまた委員会での発言や一般質問等で行政のほうに反映させていくというような活動をして、皆さんやっとなされるんじゃないかなと思います。議会としては委員会とかしょっちゅう開いとるわけですし、全員協議会とかそういった形の中で本会議だけではなくて、結構時間を潰して活動をしておりますし、また視察等このたびのこういった地方創生、あるいは総合戦略等につきましても各地を視察をいたしましてそれを提言につなげていくというような活動をやっとなるところであります。普段の活動につきましては議員個々の所管関係において活動されとると思っております。

それから、この「どれみ」とか「ゆるりん館」の建設にあたっての説明が不十分であったというような御意見だと思います。副町長もおられるので、なんとも言いにくいわけですが、議会のほうもなかなか町のそういった施設展開について情報が十分に伝わってないというようなことがありますて、ここを建設にするにあたっての指定管理の問題とか、議会のほうでもいろいろ指摘がありまして、相当厳しい意見がございました。そういうようなことがありますて、私の考えといたしましてはやっぱり総合戦略の中でこうした拠点となる施設をつくって、サ高住とかそういうものを展開していくというのが一つの全国的には大きく流れになっとならうと思うわけですが、そこら辺の中で説明が逆に後回しになったというような件につきましては、やはりこの間岩手のほうを視察をいたしましたけれども、そちらのほうではこういった施設をつくる前にいろんな利用方法とか、そこに入るものとか十分に固めてから進めていくという、前もって先ほど〇〇さんからも御意見がございましたけれども、前もって計画立てて進めていくというような手法を取っとなれるというところがございましたが、そこら辺のところは少し不足をしとったかなと個人的には思っておるようなところであります。確かに議会のほうもその情報が後手後手になっておったような気がいたしております。個人的には議員個々がいろいろと考えておられますけど

も感じておられると思いますが。議長どうですか、その辺は。

○入江議長 はい、ありがとうございます。告知の仕方については、どうもやはりそれぞれの区長さん等にはお集まりいただいてお話をしていたと思います。その辺はお聞きしていますが、その後に住民の方にどうやってそれを広げていくかということは、ちょっとその辺が十分ではなかったんじゃないかなと思っております。議会人として少し足らなかった部分もあるかと思いますが、それよりも町と一緒に進めるものでありますので、方法をやはり事前にもうちょっと。近くにおっても本当に知らなんだ、そんなもんができるのかっていう話しも聞きました。後からこんなこと言われる人、松崎地区とかが地域活性化のためにも建てる施設なのにそんなことあるのっていうようなことを議会の中でも話をしました。その辺のことは、今後のことを含めてやっぱりPRっていいですか、告知本当に全然足りないんじゃないかなって思います。やはりここにあるっていうこと自体も本当で皆さんがこの周辺の方も知っておられて覗いてみるとか来てみるということを実際にしてもらってるんだろうか、してもらわないけんのにということはどういう方法がいいのかわかりません。ここ指定管理を受けておられるまちづくり会社さんもPRも必要でしょうし、我々行政体についてもその辺と一緒に取り組む必要はあろうかなと思いますので、特に冒頭にも言いましたように地域の方に支えてもらうということが大きなこの経営基盤になろうと思いますので、どうぞ頻繁に使ってやっていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

○寺地議会運営委員会委員長 貴重な御意見だと思いますので、我々また委員会のほうでもいろいろ検討することもあるかと思いますが、いろいろ御意見を伺おうと思うところでございます。

そのほか、皆さん方ございませんでしょうか。お願いします。

○住民 私、個人の意見というよりも保育現場を代表しまして、やっぱり大変な状況です。増井議員さんも議会で質問されてましたけど、とっても代替パートでもやりくりで人がいなくてゼロ歳児がどんどんどん入ってくるっていう状況。園長先生に全部聞いてまわりました。現場をまわすが大変です。それで一番大変なのは職員じゃなくて子どもたちが一番犠牲者です。きょう来てみれば違う先生、明日来てみればまた違う人、ころころころころ関わる先生が違ってくる。一番これ低年齢の子どもにとっては情緒が落ち着かないっていう。

今、子育て層の3分の1が全国的に貧困家庭なんです。その中でまた3分の1が児

童虐待。貧困と虐待とはもう関連してるんです。だから、ゼロ歳が入ってくるってことはどうしようもない現実です。貧困があるんですもん。働かなければ生活できないという今の若い人の生活っていうのは、特に地方の場合は大変な状況です。二人で働かないとゼロ歳児で3万円支給してもらったって何の足しになりますか、はっきり言って。行政の方も言うておられました。初めは抑止力がありましたって、3万いただいて。けども今は抑止力はありませんって言われました。もうやっぱりゼロ歳から途中からどんどん入ってくるの。困ってるってことは、私、現場ずっと聞いてまわりましたので。本当に私は、個人の意見ではなくて現場の声を伝えたいっていう思いで、これを何とかしなきゃ。これは毎年のことですんで、何年も何年もずっと続いてこれから先も低年齢保育っていうのはとっても当たり前の状況になってきて、少子化だけでも小さい子がどんどん入ってくるから保育園が子ども多いわけです。以上児になっちゃったら同じことだけ、人数は変わりませんのでね。ゼロ歳から1歳からもどんどん入ってくっていうのが当たり前になってきてるので低年齢保育を充実させていかないといけない、子どもの情緒を安定させるにはゼロ歳が一番大事です。お腹の中にいるとき、それからゼロ歳をしっかり安定させないと学校に行ってから学力につながってきますので、まず情緒の安定、土台づくり。私は保育現場にいたからそれを痛切に感じまして、ここでは言いにくいことだけど保育園の先生方は自分の孫はゼロ歳から預けたくないって言います、正直言って。ゼロ歳から集団の中には入れたくないって言います。私は早く辞めました。孫をみたかったから。ゼロ歳から保育園に預けたくなかったです。なぜって眠りたくても眠れない、食べたくても食べれない、自分の思うようにならないです、集団に入っちゃったら。そういう状況を見てましてね、それから田後にいたんですけど、口にパンを突っ込みながら、半分眠りながら登園してくる小さい子、そういう姿を見てるとかわいそうで、でも働かなきゃいけないんです、今のお母さんは。生活していけないんです働かなければパートでも。そういう状況を全国的に3分の1が子育て層が貧困になってるんですよ。だから、虐待は年々全国的にふえていくです。悪循環です。これ部落差別と同じことで、やっぱりどっかで断ち切らないとこれはなくなりませんので、そのことを議員の方々も真剣に考えて、これからの時代を育てる子どもをどういうふうにしていってる。子育てっていうのはとっても大事なことだと思います。これから人を育てていくってことを今は目に見えないけど先につながっていくことですので、これを議員の方々も現場をまわってください。現場の状況を知ってください。それを訴えたいと思います。

それで、本当で北浜中学の跡地は子育て支援の拠点にしたいし、今、夜間保育とか休日保育とか当たり前、看護師さんなんて夜間勤務があるでしょ。きゅうきゅうですよ、おじいちゃんやおばあちゃんやいろんな…まわしてみてもらったりはしてますけれどもね。知り合いに預けたりしながら夜間は。それから病児保育、今、外注ですからね。野島病院のところとか、それを湯梨浜でやってください。できなかったら広域でやってください。休日保育、休日働いているお母さんいっぱいおります。今、小売業なんてみんな休日も仕事してますからね、お母さん方。そんなにしっかり３年間育児休業が取れるような職場なんか公務員、でもなかなか教員でも３年なんかよう取らんって言いますね。３年も取ったら遅れちゃうからって言って、たいがい１年で現場復帰しますから。だから３万円支給なんてそんな小さいこと言わずに、しっかりした子育て支援の施設をつくってほしい。自分の立場としては、このことは本当に言わせてもらいたいと思います。本当によろしく願いいいたします。

○寺地議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございます。切実な思いをお聞かせをいただきました。当然、子ども子育ての大切さは我々も認識をしとるわけですが、雇用の問題、国県の政策等も関わってくるわけですが。

ここで、教育民生常任委員長がおりますので、その辺の今後の進め方等を御意見等がございましたら。

○浜中教育民生常任委員会委員長 いつも意見いただいてありがとうございます。町のほうも保育士不足の問題等については努力をしていただいとるところであります。また、我々の委員会も子育てについて意見を出し合って前向きに考えておるところではありますけど、ただ保育士不足というのは全国的な問題でして、なかなか募集しても集まらないというのが現状であります。その原因というのがなかなか見つからないわけですけど、お金の問題だけじゃないと思っております。そこら辺のところをこれから協議しながら、意見を聞きましたんでまた委員会で協議していければと思っておりますので、よろしく願います。

○寺地議会運営委員会委員長 はい、ありがとうございます。時間が押してまいっております。最後でございますが、もしこれはぜひ今この機会に言っときたいということがございましたら伺いたいと思います。その後の件につきましては、きょう冒頭、副委員長が申しあげました提言等に書いていただいて議会のほうにお届けいただきたいと思うところでございます。最後にこれはぜひ言っときたいということがございましたらお願いしたい

と思いますが、よろしいでしょうか。じゃあまたの機会にお考え等、意見等がございましたら議会のほうに届けていただきたいと思います。我々も真摯に対応をしていきたいと考えておるところでございますので、よろしくお願い申し上げます。

また、本日いろいろと御意見をいただきました、こういった御意見につきましては、委員会なり全員協議会等で議会のほうで検討させていただき審議をして、その結果につきましては議会広報等でお返しをするということにしておりますので、またよろしくお願いを申し上げたいと思います。

そのほか当議会におきましては、意見交換会の実施要綱というのをつくっております。各種団体からの申し込みがあれば検討させていただきまして対応していくということにしておりますので、意見等ございましたら議員の意見等を聞きたいというようなことでございましたら、申し込んでいただければ対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

長時間にわたりましていろいろと皆様方、貴重な御意見をいただきました。それでは最後に河田副議長が閉会の御挨拶を申し上げたいと思います。

○河田副議長 長時間の間お疲れ様でございました。貴重な御意見をたくさんいただきましたので、また持ち帰りまして検討を進めさせていただきたいと思います。

季節柄、だんだん寒くなりました。体調には十分お気をつけいただきまして、きょうの御挨拶とさせていただきます。本当に本日はありがとうございました。